

8. MAXIMISING SUCCESS

8.1 Timing of programme implementation

いつ、どの位のペースで施行すべきか

プログラムを始めるペース、プログラムにあてはまる製品の expected lifetime を考慮しつつ EPR プログラムを施行するタイミングを考えなければならない。そして国によってそのタイミングは違う。

各国の例

ドイツ：EPR environmental authority が計画するよりも早くに PRO システムを導入。速さ的にはリサイクルシステムの許容量を超える収集が起こるほど急速に。その結果二次製品市場が不安定に。（収集の為に費用が上がってしまった為、再生製品の価格が下落）

フランス：1992 EPR Packaging Programme 施行。

速さ的にはゆっくりと試験的な試みや慎重な調査をしてから。その結果二次製品市場に影響は出ず、収集コストも高くならずに済んだ。

日本：中間の速さで施行。（1995の日本容器包装プログラム）1997から国内の大企業でガラスとPETボトルについて施行。2000年からは国内の全企業で缶、紙、プラスチックなども含む。

これからの課題：redesign できない existing product に対しての最終生産者の責任はどこまで負わせるのか。

EPR 施行のタイミングには、その国の経済状況なども考慮する必要があるのでは
--

8.2 The challenge of free riders

free riding :EPR プログラムの要求に対する不履行もしくは拒絶

ドイツの場合

1. デポジットの要求されているところでしない
2. 見分けやすく、行きやすい回収場所を提供しない
3. 戻ってきた容器包装を受け取らない
4. リユースもしくはリサイクルをしない

日本の場合

1. 会計簿をつけない
2. 報告をしない（嘘の報告をする）
3. 監査を認めない

今はまだ特に違反とは定義されていないがこれから問題になると考えられること

1. PRO メンバーによる預託金の未納、嘘の報告

2. 輸入会社の取り扱いをどうするか
3. 消費者が EPR 管轄区域外から商品を買う場合
4. 消費者が分別に失敗もしくは故意に EPR で取扱うもの意外のものを混ぜて出す場合
5. 価値ある廃棄物の取り扱い
6. EPR の規定通りに廃棄物が処理されない場合

解決策

会計人、監査人を雇う / 新たに法律を制定しフリーライダーの取り締まり手段を確立する / PRO と政府の適切な役割を考える / EPR と地方自治体で役割と責任を分担する / EPR プログラムに従わない行為者に対する援助 / 政府が矯正、懲罰行動を公表する

フリーライダーを取り締まるコストを考慮に入れる必要がある

8.3 PROs as potential monopolies

政府：EPR によって環境政策と競争を両立させたい。又、統一させたい。

目標：どの PRO も差別なくどんな企業でも、どんな製品でも扱うこと。ただしそれを競争的に決める必要あり

問 1) SMEs (Small or Medium Size Enterprises) 中小企業が最終生産者の場合：

SMEs が市場に参入するときに EPR のせいでフリになる (特に海外市場)

解) PRO メンバーに対する費用 (fee) を企業の大きさに比例させて決め、必要ならば

SMEs が PRO に参加出来るように少し援助する (国内・外)

問 2) 小売業者・生産者が価格決定に関するデータをお互いにもらいあって、最終的に消費者が払う価格を意識的に上げることが出来る。

問 3) PRO が契約する廃棄物処理業者の市場：

小さいところでは、長期間、しかもその市場の地域で独占的な管理は出来ない

大きな業者と契約を結ぶ 独占状態なので PRO の廃棄物処理費用があがる

生産者に負担がかかる 製品の価格が上がり消費者に負担がかかる

解) 法律を作るしかない

なれ合いにならないこと、つまり新規参入を阻む、独占的市場の配分、市場で価格を固定してしまう、など競争を阻むことを禁じる。

例) ドイツ： DSD が廃棄物処理サービスの需要を独占

いくつか処理業者のみサービスの提供をする (供給の独占)

解) 中小企業を閉め出さない

1) 政府：廃棄物処理・収集業者の行動を徹底的に調査

2) 同じ PRO が既存の仕事の範囲を広げてはいけない

i) 他の宣伝・企業セクターに

i i) transport packaging の処理と収集に

問4) リサイクル業者の市場について：

- 1) 廃棄物処理業者、またはPROから廃棄物を買う
- 2) 2次資源を包装業者に売る(処理後のステージおける市場)

* どうやって価格決定するのか? = なれ合い

特にドイツ：リサイクル業者自体が廃棄物収集業者か包装業者によって作られている

* 自分の利益だけのためにリサイクル業者は働くかも知れない

* かつてドイツPROはリサイクル業者にただで価値ある廃棄物を渡していたのが問題になり、リサイクル業者とPROは独立するようになった。

PROを他の機関がなれ合いにならないように第3者的な監視機関が必要なのでは？

8.4 International trade issues

8.4.1 貿易

EPR 導入によって、今後さらに国際貿易で摩擦が生じる可能性がある

1. 故意に、輸入される特定の商品に差別する可能性

EPR は、政府による輸入の差別化の道具である
てはならない

2. 貿易自体を停滞させる可能性

EPR 導入による市場への要求を、容易に知れる
ようなシステム作りが必要 / 途上国の輸出業
者、零細業者へのインパクトが大きくなる

3. 需給不均衡の可能性

再生廃棄物マーケットの確立が必要

8.4.2 その他

国境を超えたフリーライダーの対応 政府の代わりに、PRO とそのメンバーが監視を
行うべき・またそのためのインセンティブも必要

- > 輸出をしておきながら、拋出金を支払わないような生産者のケース
- > 廃棄物として処理するのが困難な商品を、輸出する生産者
- > 消費者による国境越えの購入 (EPR 導入国が少ないような時)

* 対応策 PRO が法的に対処できない場合は、政府の介入が必要

可能な限り、PRO 主導で上記の問題の対策が行われるのが望まれるが、政府による補佐的な啓発活動、環境の整備も不可欠だ。

8.5 Rewarding responsibility

EPR 成功 = 製品のデザインし直しをする生産者が協力すること。この行動による利益は
継続的であり、そして競争でフリにならないようにしなくてはならない。

利益： 1) 原料節約による貯金

2) 自分の製品から回収された資源の価値

3) 従来のやり方から変えたお陰で下げられた費用分

問1) デザインし直した個々の企業が一番多く利益をもらえる訳ではなく、PROにすべての利益が行ってしまい、帰ってきたとしてもPROメンバー全員に配分されてしまう。= PROに参加するかどうか自体、疑問が出てくる

解) バーコード(「グリーンポート」など製造時にスキャンできるシステム)を付ける。

努力した企業がEPRによって達成した効率性の経済的価値をたくさんもらえる。= インセンティブ

* PROがやらないのならば、EPRの governmental Authority が Legal Authority 作るべき

消費者の報酬はないのか? 彼らの協力がなくては産業界もデザインを変えたりはしない。

8.6 Additional factors supporting success

成功の為に EPR environmental authority がすべき事は

- ・ EPR environmental authority はPROを支持しつつ specific power を持たなければならない。

- ・ mandatory public education と product labeling の重要性を考えるべき。

例) EU Directive for Packaging and Packaging Waste

- ・ 顧問監視協議会、もしくは生産者、PRO、地方自治体、消費者による組織を設立してみてもは? とにかく政府と private sectors の協力が必要。

- ・ 実行の監視が必要: 自己監視、実施データの収集、政府と国民への報告が必要。

日本の例。

更なる成功の為に

- ・ 政府は virgin material を使うよう促すような税インセンティブ、財政補助、補助金をなくす方法を考えるべき。

- ・ 政府の製品購入ポリシーも重要となる。

- ・ 経済手段によってごみの削減などが成功したならそれによって得られる利益は自治体に参加のごほうびとしてわけべき。

- ・ “pays-as-you-throw”(捨てた分だけ払いましょう)システムを導入しては?

考察 EPR を日本で施行する場合...

参考資料

『1999年版 産業と地球環境』 (1999) 株式会社産業技術会議

『イミダス99』

“Case Study on the German Packaging Ordinance May 1998 ”

「EPRを日本で施行する場合、このEPRの英文にあるように理想通りいくわけではない。どうすればMaximising Success となるかを考えたいと思う。そこでまず**日本の特徴**を、政府、生産者、消費者担当に聞く。」

- > 政府・・・景気、二次資源の市場などについて
- > 生産者・・・中小企業の数について
- > 消費者・・・国民性、消費者マインドについて

「次に、EPRを導入した場合、具体的に諸問題が**どういった形で日本に現れるか**を考える。まずは独占について、生産者に聞く。」

- > 生産者・・・中小企業に関連させて、考えられる独占の形態を説明
(PROからの中小企業の締め出しなど)

「貿易障壁について、政府に聞く。」

- > 政府・・・リサイクルされた資源の市場ができていない結果、輸入の規制要因となる可能性についてなど

「フリーライディングについて、生産者、消費者に聞く。」

- > 生産者・・・力の無い企業のただ乗り
- > 消費者・・・国民の意識に関連させて、フリーライディングの可能性を説明

「以上のような問題が考えられる。そこで僕らが肝要と考えたのは、環境に価格をつけるということだ。ここでの環境とは、資源の有効利用自体を指す。それによりコスト・ベネフィットの適用が可能になり、リサイクルの重視、消費者教育の強化、企業の経営方針の変革が望めるようになる。」